

# かがみいし議会だより

No.145  
平成24年 8月  
発行 福島県鏡石町議会  
編集 議会広報編集委員会  
〒989-0401 福島県岩沼郡鏡石町  
不時沼345  
電話0248(62)2110  
印刷 南 山 印 刷



あやめウォーキングに多数参加



復興を祈念して祭りのテープカットを子どもたちと



鏡踊蘭会も見事な舞を披露

## 復興あやめ祭り盛大に

昨年は震災により中止となった「あやめ祭り」が今年は盛大に開催されました。祭りのイベントには多くの町民のみなさんも参加し、復興に向けて大いに盛り上がりました。



子どもたちの未来のために復興を

## 審議の結果（第4回定例会） \* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄

議案の概要	結果	円谷	古川	菊地	長田	小林	井土川	大河原	今泉	仲沼	木原	渡辺
専決処分の承認 一般会計補正予算（第10号）（東日本大震災復興交付金基金積立）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 一般会計補正予算（第11号）（3月末の整理予算30,084万円を減額）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q 小林議員「道路占用料と保育所賃金の減額は何故か。また、土地売却収入の内容は何か」 A 都市建設課長「道路占用料減額は、電柱使用料の減額によるもの」 A 健康福祉課長「保育所賃金が緊急雇用賃金で支払われたため減額」 A 総務課長「土地売却は、大池地内の町有地売却によるもの」 Q 今泉議員「歳入の雑収入のその他に、23,636千円とある。額が大きい内容は何か」 A 総務課長「公共施設火災保険の見舞金であり、一校舎21,000千円を含む12施設分となる」												
専決処分の承認 国保会計補正予算（第5号）（3月末の整理予算6,687万円を増額）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 後期高齢者医療会計補正予算（第3号）（3月末の整理予算1,563万円を減額）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 介護保険会計補正予算（第4号）（3月末の整理予算1,413万円を減額）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 工業団地会計補正予算（第3号）（3月末の整理予算6,477万円を増額）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 駅東会計補正予算（第3号）（3月末の整理予算5,150万円を減額）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 公共下水道会計補正予算（第5号）（3月末の整理予算2,826万円を減額）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 農業集落排水会計補正予算（第4号）（3月末の整理予算305万円を減額）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認 24年度一般会計補正予算（第1号）（復興まちづくり事業計画策定等1,500万円増額）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町税条例の一部改正 大震災による特例支援等を加える税法の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国保税条例一部改正 大震災による特例支援を加える税法の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計繰越明許費計算書の報告 震災により土木施設復旧事業等11事業 746,910万円が新年度での執行となった	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駅東会計繰越明許費計算書の報告 区画整理事業 19,336,000円の繰越額の報告	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道会計繰越明許費計算書の報告 公共下水及び災害復旧道事業786,929,000円の繰越額の報告	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水会計繰越明許費計算書の報告 災害復旧道事業32,490,000円の繰越額の報告	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計事故繰越し繰越計算書の報告 震災により道路維持事業3,944,000円が新年度での執行となった事故繰越しの報告	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道会計繰越計算書の報告 震災による配水管布設事業148,985,000円の繰越額の報告	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国保税条例一部改正 国保税課税按分率の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
印鑑登録及び証明に関する条例一部改正 外国人登録法の改正により関係条文削除	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手数料徴収条例一部改正 外国人登録法の改正により外国人登録票記載事項の証明手数料を料金表から削る	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外国青年教師給与条例一部改正 国、県の通達により語学指導助手の在職年数により給与額を変更する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防ポンプ車購入契約の締結 消防ポンプ車（CD-1）1台15,645,000円の購入契約締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第一小学校校舎解体工事請負契約の締結 第一小学校校舎を解体する工事契約104,543,250円の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道災害復旧工事変更契約の締結 公共下水道災害復旧工事変更請負契約の締結 58,590,000円が53,812,500円に減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24年度一般会計補正予算（第2号） 災害廃棄物処理事業等42,051万円を増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q 円谷議員「災害廃棄物処理は物によって違うと思うが、内容はどうなっているか」 A 健康福祉課長「コンクリートは2,940円/㎡、木材は18,900円/㎡など種類によって違ってくる」 Q 木原議員「保健衛生予防費の食糧費210,000円の内容と福祉バスの使用目的は何か。また、農業振興費の風評対策事業の内容は何か」 A 健康福祉課長「食糧費はラジオ体操講習会の飲物代。また、福祉バスは県外で実施されるラジオ体操指導者養成講習会に出席するためである」 A 産業課長「力は放射能吸収力があるとされているため、水田の追肥等に使用したい」 Q 今泉議員「企画費委託料のシンボルマーク等整備の内容は何か」 A 総務課長「5次総合計画のスタートにあたり、提案されたマークを多方面に利用するための、デジタル化処理料である」 Q 今泉議員「震災で大変な時期にシンボルマークに予算をかける必要があるか。好ましくないではないか」 A 町長「マークは5次総合と町制50周年を記念した太陽のスマイルの意味があり、町発展に弾みをつけたい。作成は無料で、今回はデジタル化の予算である」												
24年度国保会計補正予算（第1号） 国保税の賦課額決定（減額）により科目間の調整を行う	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員選任同意 斉藤栄治氏（岡ノ内）選任に同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦 高島民子（本町）推薦諮問に同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療広域連合規約の変更 外国人登録法の改正により関係条文削除	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### <お詫びと訂正>

144号で掲載した審議の結果の一部に誤りがありましたので、お詫びして下記のとおり訂正いたします。

#### （訂正前）審議の結果（第3回定例会）

議案の概要	結果	円谷	古川	菊地	長田	小林	井土川	大河原	今泉	仲沼	木原	渡辺
議決事件を定める条例 基本構想を議決事件として定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東日本大震災復興交付金 基金条例 東日本大震災復興特別区域法による復興交付金事業に要する経費の基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
暴力団排除条例 町民の安全で平穏な生活確保と社会経済活動の健全な発展のための条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度各会計予算 一般会計外全10会計の24年度予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基本構想の改定 第5次総合計画策定のため基本構想を承認	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
庁舎新築基金条例の一部を改正する条例 庁舎新築基金の積立金下限額を減額改正	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×

#### （訂正後）審議の結果（第3回定例会）

議案の概要	結果	円谷	古川	菊地	長田	小林	井土川	大河原	今泉	仲沼	木原	渡辺
議決事件を定める条例 基本構想を議決事件として定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
東日本大震災復興交付金 基金条例 東日本大震災復興特別区域法による復興交付金事業に要する経費の基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
暴力団排除条例 町民の安全で平穏な生活確保と社会経済活動の健全な発展のための条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
平成24年度各会計予算 一般会計外全10会計の24年度予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
基本構想の改定 第5次総合計画策定のため基本構想を承認	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
庁舎新築基金条例の一部を改正する条例 庁舎新築基金の積立金下限額を減額改正	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	欠

\* 渡辺議長は欠席。円谷副議長が議長を務めたため、採決には加わらない。





# 「悪臭問題への対応は」

- 地下水の汚染防止
- 空き家、空き地対策
- 県道鏡田成田線改良について

木原秀男議員

一般質問

**町長** この周辺地域のまちづくりをどのように考えているか。代替地等の考えはあるか。

**質問**

健康福祉課長 公害のおそれがあるという考え方で規制をかけたものがある。

**健康福祉課長**

**質問** 今回、悪臭防止法による規制をかけたということは、公害と認められたのか。

**質問**

健康福祉課長 池の原地区が悪臭防止の規制地区に指定されたことにより、定期的な調査を実施している。現在のところ、規制基準値内である。

**健康福祉課長**

**質問** 池の原の悪臭問題については、私は行政側のミスだと判断している。3月1日、悪臭防止法に基づき公害規制されたが、成果はどうか。

**質問**

健康福祉課長 有機溶剤やテトラクロロエチレン等は地下に浸透して地下水を汚染し、健康被害に至ると言われているが、これを扱う事業所等への管理指導はどうなっているか。

**健康福祉課長**

**質問** 事業者は県へ届け出ることになっている。県が管理指導するが、町としても連携して指導したい。

**質問**

健康福祉課長 農業や放射性物質の地下水汚染について、対策はどうなっているか。

**上下水道課長**

農業については土壌の表面に、放射性物質の大部分については、地表面の浅い層に捕捉されるので、地下水に含まれる可能性は低い。町の浄水



# 「震災避難者受入れの考えは」

- 学校給食などのセシウム測定法
- 小被害農地への対応
- 防災対策・教育について

古川文雄議員

**教育課長** 昨年には体育館での運動で体力づくりに努めた。校庭の表土除去後には通常の活動とし、一小では仮設校舎の周りに周回コースを設定して持久走を取り入れた。引続き各種活動に工夫したい。

**教育課長**

**質問** 大震災を契機に人口増加策の一環として、避難者受入れを積極的に推進していく考えはあるか。

**質問**

産業課長 小規模災害復旧は緊急的なケースとして実施してきた。再び被災した箇所については、前回の施工状況等を確認し、今後実施主体や費用区分について、関係者と協議したい。

**産業課長**

**質問** 農地小災害対応について、震災復旧後再度被災した農地への対応はどのように考えているか。

**質問**

町長 国県に対しては避難者受入れの候補地として、駅東土地区画整理事業地区を提案している。しかし仮の町構想となると、地方自治法に規定がないので、よく調査検討して対応したい。

**町長**

あるか。



室内運動で体力づくり

**総務課長** 具体的には、避難訓練に合わせて不審者侵入対策訓練や警察署員による登下校時の防犯教室を実施している。

**総務課長**

**質問** 学校や幼稚園での防犯教育は、どういったことが行われているのか。

**質問**

町長 町防犯協会、地域安全協議会、地域安全推進員、防犯指導隊鏡石分隊などの防犯活動団体が連携して対策に取り組んでいる。具体的には定例会を開催し、毎週町内防犯パトロール等を実施している。

## 町制施行50周年記念 休日議会開催

第4回鏡石町議会定例会は、6月8日（金）から6月12日（火）までの5日間にあわせて開きました。報告議案18件（補正予算等の専決、繰越明許費報告等）と町税条例の改正他10議案さらに、固定資産評価審査委員会委員選任同意議案と人権擁護委員推薦の諮問が上程され、全議案原案のとおり可決しました。6月10日（日）には町制施行50周年を記念して鏡石町『初』となる休日（日曜）議会を開催し、一般質問で議員8人が登壇しました。

## 主な報告議案等

今回の定例会には、3月31日付で専決処分された平成23年度各会計の最終予算及び国民健康保険税等の条例の一部改正さらには、東日本大震災震災復興に係る事業の繰越計算書等が報告されました。

## 主な議案

主な議案は、外国人登録法が住民基本台帳法に移行することによる、印鑑登録及び証明に関する条例及び手数料徴収条例の一部改正さらには、国民健康保険税の課税按分率を改正するための条例の一部改正等を原案どおり可決しました。また、震災により解体される第一小学校校舎の解体工事請負契約締結や災害廃棄物処理業務委託料2億8千万円を含む4億2千万円の一般会計補正予算等を可決しました。

## 固定評価員に斉藤さん 人権擁護員に高島さん

人事関係議案では、固定資産評価審査委員会委員の選任同意と人権擁護委員推薦意見諮問の2件があり、固定資産評価審査委員会委員には岡ノ内の斉藤栄治さんを、人権擁護委員には本町の高島民子さんをそれぞれ推薦することになりました。



# 「障害者福祉の具体的取組みは何か」

- 災害復旧事業繰越明許費の完了時
- 予算に対する災害被害の割合
- 障がい者相談事業、情報提供の充実について

小林政次議員



長田守弘議員

# 「震災復旧は進んでいるのか」

- ガレキの受入れと処分状況
- 一小解体と改築工事
- 農業後継者支援策について

質問

震災によって23年度の復旧事業がかなり繰越されているが、進捗状況はどうか。繰越分は、来年の3月までに間違いなく終わるのか。

都市建設課長

23年度分工事についてはすでに、発注済。年度内完了に向け努力する。

質問

業者の工程表は提出されているのか。工事の遅延発生時のペナルティーはあるのか。

都市建設課長

業者とは随時協議している。関係課とも月1回程度、進行管理に努めるように打合せしたい。ペナルティーは遅延理由によっては、科すこともできると思っているので、指名委員会で検討したい。

質問

一部報道では震災瓦礫受入拒否の報道もあるが、町の受入状況はどうなっているか。また、今後の処分予定はどうなっているか。

健康福祉課長

町では町民の皆さんのご協力を得て、当初から瓦礫を分別収集できた。おかげさまで処理も順調に進んでいる。今後発生する分も含めて、25年度完了を目指したい。

質問

第一小学校解体工事について、解体の具体的な内容はどうなっているか。子どもたちが夏休みの間に終わるのか。

教育課長

解体は9月までで、工期は10月となっている。安全と学習環境に配慮しながら夏休み中心に行うこととしている。

質問



解体される一小校舎

健康福祉課長

新校舎の配置及び機能はどのようになっているのか。緑を残してほしいが、樹木はどうなるか。

教育課長

校舎は鉄筋コンクリート造2階建ての低層化を図る。主な機能は太陽光発電等省エネルギーとし、耐震性貯水槽を設置。南向き校舎で2百メートルトラックを確保する。樹木については、桜を出来る限り残す活用策を考えている。

質問

原発事故による風評被害は、農家に大きな打撃を与えているが、農業環境は厳しいものがある。このままでは後継者が、やる気を失くしてしまう懸念がある。具体的な支援策はあるか。

町長

後継者育成には技術、資金、結婚そして土地盤整備といったものが考えられる。スポーツクラブと共催でスポーツ婚活事業を行ったが、今後も積極的に取り組みたい。

質問

震災被害に対して事業費で20.1%しか完了していない。繰越明許の中で契約はしているが、資材確保等準備期間の途中で、工事に入れないものはどのくらいあるのか。また、その理由は何か。

総務課長

土木工事で11件、下水道工事で2件、その他2件が工事に至っていない。理由としては、春の農作業に合わせるため農業施設関連工事を優先させた。今後は次の段階に入っているため、順次復旧工事を進める。

質問

1年3か月も応急処置のみで放置されているが、標準工期もある中、指名委員会でのような議論があったか。繰越明許ありきの安易な考えはなかったか。

副町長

指名委員会では年度をまたいだ工期について、県の指導を受けながら進めている。県でも同様の形態で行っている。

質問

道路等で非常に危険なところや、交通に支障をきたしているところがある。繰越明許費となっている事業は年度内に終わるのか。

町長

災害補助事業では、国の査定を通らないと工事できない。上下水道と道路は組合せて工事するといった状況もある。今までは農地災害を優先したが、秋からは道路等も進むと考えている。

質問

第5次総合計画では障がい者福祉の基本方針で、学校教育の場で保健福祉の知識と理解を高めるとあるが、どのように行うのか。

健康福祉課長

学校では各段階に応じた福祉教育の充実、幼稚園・保育所では就学前児童を対象に障がい者ふれあい事業、交流事業を検討している。

質問

ノーマライゼーションを基

鏡石町「初」休日議会

一般質問に議員8人



平成24年度は町制施行50周年目に当たり、これを記念して町議会では「町民の皆さんの議会傍聴の機会を増やし、広く開かれた議会を目指して休日(日曜)議会を開催しました。

会期第3日の6月10日(日)午前10時から本会議を開き、一般質問を行い、鏡石町「初」となる休日議会には、8人の議員が登壇して一問一答方式による一般質問を行いました。

## 休日議会で傍聴者席を増設

一般質問が行われる休日議会にあわせて、議場の配置も一部変更。傍聴席を20席増設し43席を用意。役場2階の第一会議室と1階ロビーにテレビ中継用の傍聴席を特設して、来場者に対応しました。

議会傍聴には約60人の皆さんが来場され、開会時には議場の傍聴席が満席となり、関心の高さが窺えました。

傍聴された皆さんは、町民の皆さんの代表者である議員がどのような質問をするのか、そして町執行側がどのような答弁をするのか、熱心に見守っていました。

また、日曜日の午前中は役場窓口も開庁されており、用があつて訪れた方もロビーのテレビで傍聴できた様子を見ました」といった声も聞かれました。



# 「震災ガレキを再利用してはどうか」

- ガレキの再利用で早期処理
- ジェネリック医薬品の利用促進
- 財政健全化の取り組みについて

円谷 寛議員



### 教育課長

木材ボイラーの設置費は5千万円から1億程度になる。木材をチップにする施設も必要となるため、人件費等も合わせると実現は難しい。

### 質問

屋根のカヤとか小麦藁も瓦

### 質問

瓦礫を再利用することは、早期処理にもつながるので検討してほしいが、木材瓦礫は温水プールに使えないか。灯油の値上がりなどもあるので、検討してはどうか。

### 質問

地盤強化に石やコンクリートの塊をそのまま使うことはない。再利用のための加工処理が必要となる。そうした経費の点から地盤強化に使うことは難しいが、再生コンクリート等を道路に使用することを検討している。

### 質問

震災瓦礫の石、瓦そしてコンクリート等は駅東地区開発の地盤強化に使えないか。

### 都市建設課長

堆肥として使用することは可能である。農家への提供については、担当課と連携して検討したい。

### 産業課長

震災瓦礫のカヤや小麦藁は堆肥として使用することは可能である。農家への提供については、担当課と連携して検討したい。

### 質問

国保税を少しでも安くするため、医療機関に対してジェネリック医薬品を使うよう申し入れをすべきでないか。薬の使用について、患者さんは医者に対してなかなか言いづらいと思う。

### 税務町民課長

ジェネリック医薬品使用については、国県も医療機関等へ連絡している。町でも町民のみならず、ジェネリック医薬品希望カードを配付している。今後とも普及啓発活動を展開する。

### 質問

命名権の売買についてはどうか。具体的には町民プールや鳥見山陸上競技場等を町内

### 町長

例えば、小規模災害対策については、農家のみなさんにお願ひして実施した。今後とも長期的な見通しと緊急事態への対応の両面から適切な財政運営を図る。



廃棄物処理費も補正

事業内容	補正予算額 (単位：千円)
除染事業管理業務委託	2,000
風評被害対策補助金	2,550
災害公営住宅建設マスタープラン委託	4,500
災害援護資金貸付金	17,500
岡ノ内地内災害復旧支援工事	36,000

# 「除染はどうするのか」

- 仮置場の選定
- 人間ドック期間短縮
- 高久田一貫線について

菊地 洋議員



### 質問

放射能除染について、除染実施計画によると23年度に仮置場選定だったが、いまだ選定されないのは何故か。

### 町長

施設の特異性から難しい面もあるが、具体的には久来石笠石、仁井田、鏡田、高久田そして成田の6地区に各1箇所と考えている。区長協議会に候補地をお願いしている。

### 質問

先日モデル除染の結果が示されたが、この結果から今後どのように除染を進めるのか。除染の実施方法について、民間委託も考えているか。

### 原子力災害対策室長

モデル除染結果から、庭等の表土除去や側溝等の堆積物除去による効果が高いことが分かった。これを参考に一般住宅除染手法を検討する。除染計画の推進には、業者等への委託は必要と考えている。

### 質問

除染業者について田村市で

は、町内業者らが復興事業組合を設けて準備しているようだが、本町ではどうか。

### 原子力災害対策室長

県では除染業務の講習会等も開かれており、委託業務の中で法令等も調査しながら検討したい。

### 質問

人間ドック補助制度について、現在5年に一度人間ドックの補助が実施されている。予防医療向上の観点から、この期間を短縮することはできないか。

### 健康福祉課長

24年度は特定健診の評価年度となる。国のがん検診補助事業の関係もあるので、健診事業全体の見直しを図る中で、対策型健診として検討する。

### 鏡田499号と一貫線

### 質問

未開通となっている高久田一貫線の見直しはどうか。また、鏡田499号線は交通量がふえているが、



鏡田499号線交差点

交差点は優先順位等も示されていないため、今後交通事故等が懸念される。交通安全対策について、どのように考えているか。

### 都市建設課長

高久田一貫線については、須賀川との接続部分が中断している。須賀川市では昨年震災のため、地権者交渉をしていない。町としては早期開通を目指して、市に要望する。また、鏡田499号線交差点については、横断歩道、自転車マーク等区画線の改良工事を行う。高久田一貫線供用開始時には、交差点信号の設置要望も行いたい。

## 24年度補正予算

災害復旧事業等の平成24年度一般会計補正予算の主なものは、次のとおりです。

事業内容	補正予算額 (単位：千円)
東日本大震災復興交付金積立	44,364
線量低減化活動支援補助金	2,000
被害者健康支援体制整備事業	4,167
災害廃棄物処理業務委託	289,827



# 「日本一やさしい町の目標は」

- 高齢単身世帯の支援
- 町民窓口サービス
- 定住補助金計画について



畑 幸一議員

質 問

5次総合計画の基本理念である「やさしさとふれあい」という言葉は、個人によってとり方が違う。町では、をどのような姿で町民の皆さんに実感させるのか。

総務課長

総合計画の「心豊かな人を育て、地域文化を大切に」等5つの目標を相互に関連させ、横断的な視点に立ち、教育・福祉・産業等さまざまな分野において施策を展開することによって具現化される。

質 問

高齢者の独り暮らしの実態を把握しているか。支援活動はどうなっているか。高齢者は今後増えると思うが、課題は何か。

健康福祉課長

65歳以上の、いわゆる独り暮らしは、321世帯となっている。給食配食等在宅サービスを行っている。課題としては、地域コミュニティ機能の低下や高齢者自身からの働きかけが、少なくなってきた

質 問

障がい者支援で、障がい者が地域社会に安心して参加できる環境整備やボランティア活動の協力を図る等地域が一体となった支援体制はつくられているか。

健康福祉課長

野外施設については、県のやさしい町づくり条例をもとに、安全で快適な施設整備を進める。教育では本人の意向を踏まえて、適切な就学を支援したい。また、事業所等との連携を図り、就労支援も進めたい。

質 問

日本一やさしいまちづくりについて、笑顔、あいさつ、道徳心を持つて原点に返ることが大切と思う。国王が来日したブータン王国は世界一幸せな国という意識づくりがある。町での目標はあるか。

総務課長

日ごろからおもてなしができるよう、ゆとりと豊かさが

実感できるように、元気なあいさつができ、一年中花で彩られている町づくりを町民の皆様と共に進めたい。

質 問

町民が1カ所の窓口で、気軽に安心して相談できるサービスを行う計画はあるか。

町長

町民の皆さまの様々な相談をお受けするため22年11月から総合相談室を設置した。来庁された皆さんには、職員ひとり一人が対応案内できるように努めたい。

質 問

人口定着推進事業として定住住宅補助金を、40歳以下の方の支援策として取り組む計画はあるか。

総務課長

本町は、県内でも若い方が多く住んでいる町である。補助制度は、定住促進の有効な施策なので、調査研究したい。

# 「女性、高齢者、若者対象の政策を」

- 東日本大震災今後の対応
- 住民参加型のまちづくり
- 駅東開発・計画変更について



今泉文克議員

質 問

東日本大震災の対処について、岡ノ内、境西地区の町が分譲した土地について、高額な調査費が計上された。この住宅地の陥没や地盤沈下の対応をどう考えているか。

総務課長

岡ノ内については、道路の再構築工事に係る予算。境西団地については、不同沈下対策計画に基づく2次調査予算をそれぞれ計上した。安全確保と住宅地の安定を図りたい。

質 問

地震災害が津波や原発に隠れてしまっているように思える。町は住民要望に応えられるように努力すべきである。相互理解に努めるため、対象住民との話し合いをしていく考えはあるのか。

町長

岡ノ内は地震被害で、境西は不同沈下と内容が違うが、話し合いについては今後も進めていきたい。

質 問

質 問

放射能除染について、U字溝等を洗い落とすと下流に堆積する。末端の集積土壌の調査はどうなっているか。

原子力災害対策室長

側溝等で高い数値を示しているものがある。今後、仮置場保管と合わせて考えている。

質 問

町民自らの鏡石町を目指して、住民パワーのまちづくりを進めたい。特に、女性、高齢者そして若者を対象とした政策を提案すべきと思うがどうか。

町長

厳しい財政状況の中で、町づくりの主役である町民の皆様への知恵や力を借りたい。5次総合計画策定でも町民参加として「まちづくり委員会」から提言をいただいた。

優遇策は考えているか

都市建設課長

第1工区は道路築造で50%、造成で15%程度の進捗であり、27年度には工事終了の見通しである。保留地販売については、放射能の影響が低い町村では多少動きが出ているので、価格等情報収集して進めたい。優遇策については検討したい。

質 問

駅東開発は長期化しており、震災以後特に、情勢も変化してきている。今後本当に、公共用地等を含めて住宅地、工業用地も必要なのか、もう一度原点に戻って、執行と議会と町民が一緒になって検討すべきと思うがどうか。

町長

町が取得した町有地は、現在5つの工区に分かれてしまっている。公共施設用地は第2工区に計画されているので、今後それをどうするか、議会と一緒に検討したい。

## 行政調査研修実施

平成24年度行政事務調査は、7月4日（水）から6日（金）まで沖縄県南風原町、西原町そして北谷町で実施しました。

今回の調査事項は次のとおり。

- ① 農業振興と健全財政
  - ② 雇用対策とIT利用情報交換
  - ③ 都市開発計画
- 東日本大震災で本町が多額の見舞金を受けている北谷町では、御礼のため、表敬訪問も行いました。



南風原町で先進施設視察

## 編集後記

本年は町制施行50周年の記念の年です。議会ではこれを契機に『より開かれた議会』を目指して本町初となる『休日議会』を開きました。増設された傍聴席も埋まり、一般質問に登壇した議員も8名と一応の成果をみましたが、これに驕ることなく、これからもより一層研鑽を積む所存です。被災した第一小学校が、町制50周年の節目に新しく建築されることは、復興のシンボルにも思えてきます。そこで学ぶ子どもたちが『明るい未来』を築くでしょう。

暑い日が続きますが、どうか皆様もご自愛願います。

発行責任者

議長 渡辺 定己

広報編集委員会

- 委員長 岡谷 寛
- 副委員長 菊地 洋
- 委員 長田 守弘
- 委員 井土川好高
- 委員 大河原正雄
- 委員 木原 秀男